

南阿蘇鉄道ニュース

南阿蘇鉄道4・14復興ツアーを開催！

4月14日、南阿蘇鉄道の沿線にて、『南阿蘇鉄道4・14復興ツアー』が開催されました。通常は入ることのできない日々変わりゆく南鉄復旧現場を見学できるこの特別ツアーには、定員全ての申し込みが埋まるなど、多くの人が参加しました。

当日は、今しか歩けない貴重な体験として、立野駅から立野橋梁までの運休区間を歩く『レールウォーク』や今年から復旧工事が始まる第一白川橋りょうの見学会が開催され、参加者は普段は歩くことができないレールの上からの景色や、今回限りとなるかもしれない橋りょうの構造を楽しんでいました。

その後は、トロッコ列車への乗車や南阿蘇地域の食も満喫され、参加者からは「ツアーに参加して良かった。今後も参加したい」と充実した一日を過ごされた様子でした。



南阿蘇そば道場がオープンしました

平成31年4月12日に「そば加工体験施設」が道の駅あそ望の郷くぎの敷地内に移転オープンいたしました。移転に伴い名称も「南阿蘇そば道場」に変更いたしました。

総事業費、204,990千円のうち82,500千円は、国の地方創生拠点整備交付金を活用しております。また備品など一部は、旧そば道場から移設し再利用しております。移設後は、あじわい館と併設しておりますので、テイクアウトし、ウッドデッキで食することも可能となりました。皆さまお誘いあわせの上、お越しく下さい。



水加工場はくすいの生産ラインが新しくなりました



総事業費143,456千円（うち71,728千円国補助）で、平成30年度地方創生拠点整備交付金を活用し、水加工場はくすいの製造ラインおよび衛生規格が向上いたしました。

平成7年に整備された後、初めての大規模設備改修工事で、設備導入に伴い、1時間当たりの製造が1,500本から3,000本（500mlペットボトル）へ生産性が向上し、コスト削減と販路開拓、ならびに最重要課題でありました人材不足に伴う労働力の負担軽減が大いに期待できます。